

平成28年度 自然科学コース2年生中部大学研修（報告）

11月4日(金)に2年A組の29名が、中部大学に1日校外研修に行ってきました。化学に関連した講義や実験、施設見学などを体験しました。中部大学の多くの職員・学生の方のご協力の下、本校自然科学コース2年生の研修を実施させていただきました。ご多用中にもかかわらず、丁寧なご対応と熱心なご指導をいただき、充実した研修を行うことができました。誠にありがとうございました。

活動の記録や感想からもわかるように、みんな積極的に実験に取り組みました。今回の研修を通して、分子の構造や実験器具の扱い方について理解を深められたと同時に、学問や研究のおもしろさについても触れることができました。また、研修後は、事後学習として、学んだことをポスターとしてまとめました。研修を通じて、進路意識の向上につながったと思います。

1 体験プログラム

- (1) 模擬講義1： 中和滴定による酸濃度の決定
- (2) 実験1： pHメーターを用いた中和滴定
- (3) 模擬講義2： 右と左の分子の役割と分子を分ける技術
- (4) 実験2： 薄層クロマトグラフィーによる分子の分離
- (5) 施設見学

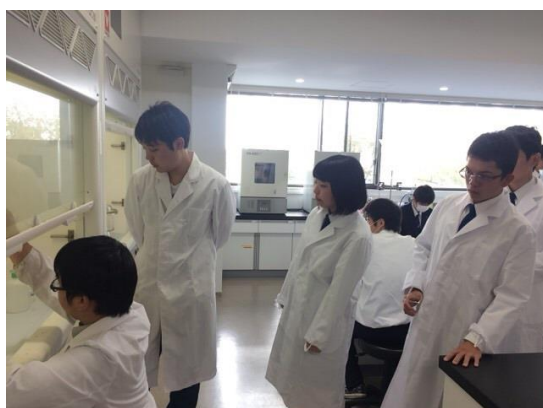
2 活動の記録



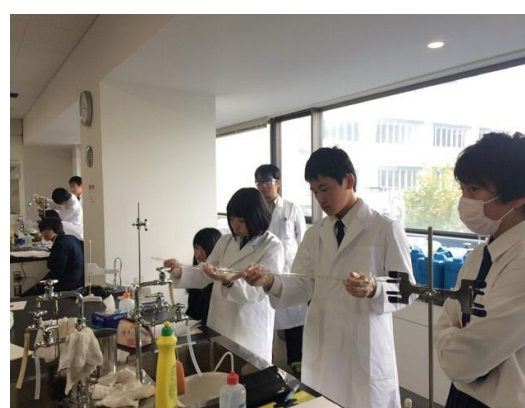
教授の話に耳を傾けます。



分子の構造について！



大学生からも教わりました。



白衣を着て、研究者になった気分！



学祭期間中ということで・・・



民俗資料館も見学しました。



事後学習では、ポスターを作ります。



研修内容を思い出して、理解を深めます。

3 生徒の感想

【生徒の感想】

- 今まで大学には行ったことがあるけれど、初めて研究室を見たり、模擬授業を受けたりすることができて、大学についてより知ることができました。大学の授業は深く考えることが大切であると実感し、そのためにも今、高校化学の内容をきちんと学習しなければいけないと思いました。実験は奥深く、とても楽しかったです。研究室では1つ何千万円や1億円もする機械がたくさんあってびっくりしたし、これだけのものが使えたらどれだけ研究できるかと思い、大学に行くのがより楽しみになりました。
- 大学の先生方が実験方法や学科のことなど、たくさんの事を1つ1つ丁寧に教えてくださり、とても分かりやすかったです。大学にある物の一つ一つが高価なものばかりで、いろんな道具がそろっていて、本格的な研究ができるのがとてもいいと思いました。大学の雰囲気も、とてもいいなと思いました。学食もたくさんのメニューがあったり、図書館や博物館など楽しめる所もたくさんあってよかったです。
- 前回オープンキャンパスで来た時の様子とは大きく異なった学祭中の様子が体感できてよかったです。また、大学内の教室や施設についても詳しく知ることができ、志望校の一つでもある中部大学がどんな大学なのかも短い時間でしたがわかってよかったです。最後に行った民族の服や楽器がある部屋ではいろいろと面白いものが見れて楽しかったです。
- 実験もたいへん理解でき、大学の雰囲気も分かったので良かったです。教授に個人的な質問もできたので良い体験でした。この経験をもとに、また実験をやり直した

いと思いました。高校の授業とは全然違って少し難しかったけど、楽しかったです。学食はすごくおいしかったけれど、量が多くて食べきれないのが本当に大変でした。

- 実験用具の使い方がよくわかりました。いろんな施設を見せてもらいました。学校祭の楽しい雰囲気が伝わってきました。大学での授業の雰囲気を感じることができました。大学選択の参考になりました。学食が豊富であるのも魅力的だと思いました。
- 実験についての説明がしっかりなされ、ほとんどがスムーズに進んだところが良かったです。実験の前の講義で実際にモノを使った説明や、映像を使った説明があり、とてもわかりやすかったです。学祭がとても賑やかで、学食が安くてとてもおいしかったのが印象に残っています。
- 本格的な大学の授業を体験できました。大学1年での授業内容は特にどんなものを行うかなど細かく知ることができ、とても良かったです。実験では、今まで触ったことのない器具を使ったりしたので、大学に入って実験をやるのが楽しみになりました。